



【臨時レポート】

2022年9月26日

ご投資家の皆様へ

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

弊社公募投資信託の基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社の公募投資信託の基準価額が本日大きく下落しましたので、その要因等について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 基準価額および下落率（前日比で5%以上下落したファンド）

（2022年9月26日現在）

ファンド名	基準価額（円）	前営業日比（円）	下落率
しんきん世界好配当利回り株ファンド（毎月決算型）	5,496	-299	-5.16%
しんきん世界好配当利回り株ファンド（1年決算型）	12,746	-695	-5.17%

2. 主要指数

主要指数（国内）	9月26日	前営業日比	騰落率
日経平均株価（円）	26,431.55	-722.28	-2.66%
東証REIT指数	1,977.33	-39.69	-1.97%

主要指数（海外）	9月23日	9月21日比	騰落率
NYダウ（ドル）（米国）	29,590.41	-593.37	-1.97%
S&P500種指数（米国）	3,693.23	-96.70	-2.55%
FTSE100指数（英国）	7,018.60	-219.04	-3.03%
ドイツDAX指数	12,284.19	-482.96	-3.78%

対顧客電信相場	9月26日	前営業日比	騰落率
米ドル（円）TTM	144.02円	-0.49円（円高）	-0.34%
ユーロ（円）TTM	139.08円	-2.76円（円高）	-1.95%
英ポンド（円）TTM	154.23円	-8.13円（円高）	-5.01%

（出所）Bloomberg よりデータ取得し、しんきん投信作成



3. 下落の要因

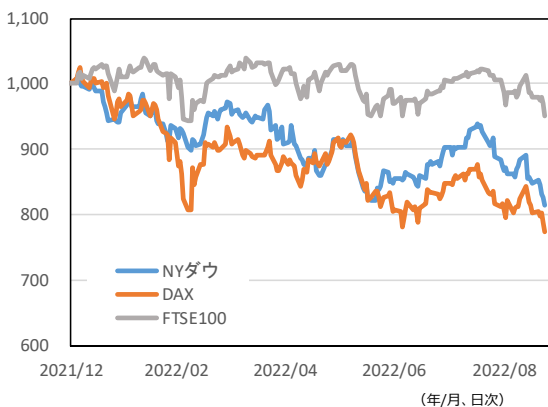
9月20、21日に開かれた米連邦公開市場委員会(FOMC)で、米連邦準備制度理事会(FRB)は3会合連続で0.75%の利上げを決定しました。一部では1%の利上げもあり得るとの見方もありましたが、大方の予想通りで利上げ幅についてサプライズはありませんでした。しかし一方で、FOMC参加者は、市場予想を上回る政策金利見通しを示しました。22日には、英イングランド銀行(BOE)やスイス中央銀行が大幅利上げを決定すると、世界の主要中央銀行の積極的な金融引締めが景気後退につながるとの懸念から、世界の株式市場は下落しました。さらに23日には、英国政府が大規模な減税策と国債増発計画を発表したことを受け、英国の財政やインフレに対する懸念が高まり、金融市場でリスクオフの姿勢が強まったことで、世界の株式市場は連日で下落しました。また、為替市場においても、英国の財政懸念などにより英ポンドが対円で急落し、それが波及する形でユーロも同様に下落しました。

当ファンドは、世界の先進国・地域(日本を除く)の株式を投資対象とし、「今後も良い業績を上げて、安定した配当や増配が期待できる」好配当利回り株に投資を行っていますが、足元では、米国株式に比べて英国株式(英ポンド建て)やユーロ圏の株式(ユーロ建て)が割安と判断しており、英国やユーロ圏の株式の保有比率が高くなっています。そのため、世界の株式市場の下落に加え、英ポンドやユーロの下落も、当ファンドのパフォーマンスの悪化要因となりました。

4. 今後の展開

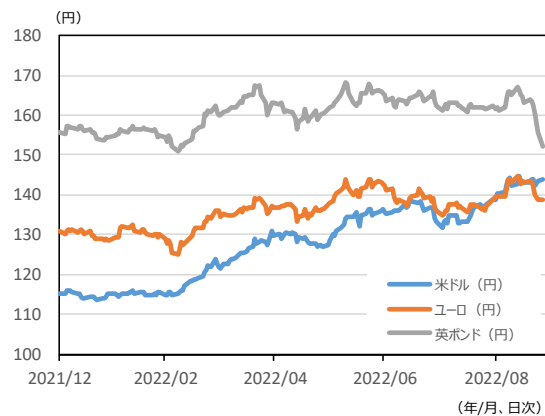
世界的にインフレが高進する中、FRBをはじめ、主要国の中央銀行が大幅な利上げに踏み切っています。FRBについては政策金利の見通しを市場の織り込みを上回る水準に引き上げたことから、米金融引締めが長期化すると警戒も広がっています。欧州についても高インフレや利上げ加速に加え、ウクライナ紛争の長期化やイタリアの政局不安は重しになりそうです。もっとも、米国については雇用環境は堅調さを維持し、個人消費は底堅く推移するとみられます。エネルギー価格の上昇一服や住宅市場の調整など、インフレのピークアウトの兆しも出てきています。欧州についても行動制限が緩和される中、経済活動の再開は景気を下支えするとみられます。景気後退(リセッション)への警戒はくすぶりますが、景気下押しが浅いとの見方が徐々に広がると投資家心理が向上することも想定されます。また、英国については、財政悪化・インフレ懸念により英ポンドが下落しており、当面不安定な動きを見せる可能性はありますが、金融引締めなどからインフレがピークアウトしていく中、安定を取り戻していくとみられます。とはいえ、インフレが明確にピークアウトしたとの認識が広がり、FRBなどによる利上げのペースが緩和するまでは、金融市場は不安定な状態が続く可能性があり注意が必要です。

(2021年12月末=1,000として指数化) 図表1：米株と欧州株



(注) データは2022年9月23日現在
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

図表2：為替水準



(注) データは2022年9月23日現在
(出所) Bloombergよりデータ取得し、しんきん投信作成

以上



＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前書面をよくお読みください。

※当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。